

2016年度光学論文賞

2016年度(第57回)光学論文賞は、田口敦清氏（大阪大学）ならびに若山俊隆氏（埼玉医科大学）が受賞されることになりました。受賞対象論文は次のとおりです。

○田口敦清氏：

Atsushi Taguchi, Jun Yu, Prabhat Verma, and Satoshi Kawata, “Optical antennas with multiple plasmonic nanoparticles for tip-enhanced Raman microscopy,” *Nanoscale* 7, 17424 (2015).

○若山俊隆氏：

Toshitaka Wakayama, Takeshi Higashiguchi, Hiroki Oikawa, Kazuyuki Sakaue, Masakazu Washio, Motoki Yonemura, Toru Yoshizawa, J. Scott Tyo, and Yukitoshi Otani, “Determination of the polarization states of an arbitrary polarized terahertz beam: Vectorial vortex analysis,” *Scientific Reports* 5, 9416 (2015).

授賞式はOptics & Photonics Japan 2016にて行います。授賞式後、記念講演を予定しております。

日 時： 2016年11月2日(水) 14:00～

場 所： 筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京都文京区大塚3-29-1）

選考委員は以下の通りでした。

委員長：川田善正（静岡大学）

委 員：梅田倫弘（東京農工大学大学院 工学研究院），大館 暁（ニコン コアテクノロジー本部），三宮 俊（株式会社リコー リコー未来技術研究所），成瀬 誠（情報通信研究機構 光ネットワーク研究所），的場 修（神戸大学大学院 システム情報学研究科）